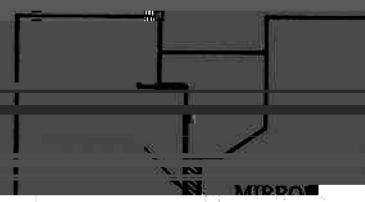


伊 菲 美

右 田 明 安



W10 μm
H5 μm

CAVITY



2. 実験

レーザーパワー 1.0 mW

3. 結果 及び 考察

射出成形樹脂 ポリカーボネート樹脂 (アムルアモル)

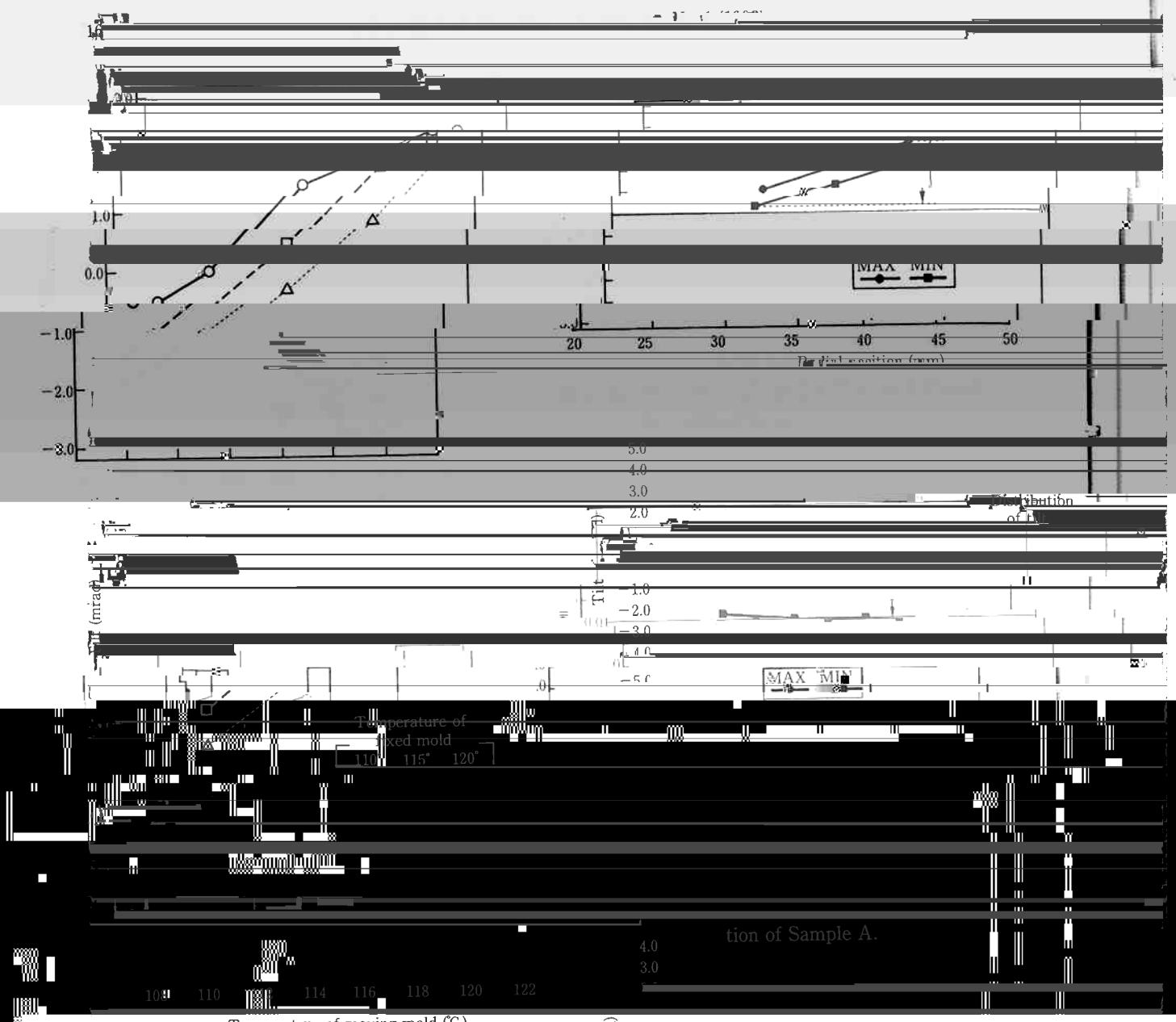
Table 1. Main parameters of the experiments

115,

12,

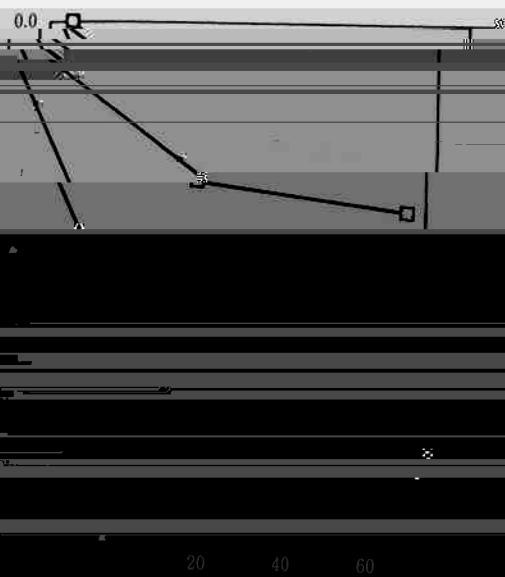
110,

80



tion of Sample A.

Fig. 4(a) Relationships between tilt and radial posi-



〔?〕 壓縮混練条件の影響

圧縮混練の適切な時間は、混練条件によって異なる。

したがって、混練時間だけキャビティ一間隔が増がるときの

ゲート間隔も同時に拡がることになり、圧縮混練後の

生地の厚さが付加される。

圧縮混練の目的は、

Aging Time (hr.)

論結

10 1.5

Stamping delay time (sec)

Fig. 10 Relationship between changes of tilt and

